

戸籍の読み仮名の法制化等に関する 調査研究業務

令和3年8月

富士フイルムシステムサービス株式会社

1 背景と目的

本調査研究業務は、デジタル政府・社会への加速を背景とし、戸籍の読み仮名の法制化が戸籍事務に与える影響について、「制度面」と「戸籍情報システム面」の双方から調査研究を行った。

背景

デジタル政府・社会への加速

目的 戸籍事務の制度面と戸籍情報システム面の双方について、読み仮名に関する現状分析等や戸籍情報システムのあり方の検討等の調査研究により、氏名の読み仮名の法制化に係る検討の具体化を支援する

戸籍事務の制度面における検討








- 氏名の読み仮名の法制化に係る調査、研究等
- 付加価値の高い戸籍事務の改善要件の検討支援
- 運用が開始されるに至るまでの工程表等策定支援

戸籍情報システム面における検討

- 戸籍に読み仮名を付するために必要なシステム形態・方式等の検討
- 設計書等の変更点に関する改定案の検討

2 業務実施概要

本調査研究の実施項目と工程は以下のとおり実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月
I. 読み仮名の法制化に係る調査研究等					
II. 付加価値の高い戸籍事務に向けた要件に関する考察					
III. 戸籍情報システム及び関連システムの改修内容と必要コストの調査					
IV. 運用が開始されるに至るまでの工程表等の策定支援					
V. その他主管課が行う作業等の支援					
VI. 設計書等の変更部分の具体的な改訂案の検討・策定					

3 読み仮名の法制化に係る調査研究等の結果概要

現状における戸籍事務及び読み仮名の活用、また、想定される法制化後の戸籍事務の変更点を調査研究し、市区町村や民間企業へヒアリングを実施した。

実施結果を基に、法制化後の読み仮名の活用方法と法制化に向けた課題を以下のように整理した。

ア 考えられる活用方法

- ・ 戸籍事務の範囲では、現在も一部の場面で活用されている「窓口での呼称」「検索用」として使われていく。これ以外の活用ケースはないと推察される。
- ・ 行政事務全般で見た場合には、漢字氏名に代わり公証された読み仮名を新たな本人確認情報として活用されていくことが考えられる。

イ 法制化による新たな戸籍事務における課題

① 早期収集に向けた手段や支援の検討

- ・ 読み仮名の法制化の目的及び効果的な利活用の実現のため、国民の十分な理解に配慮した周知方法や受け入れ体制など、市区町村あるいは法務局及び国において、どのような手段や支援を行うかが課題となる。

② 円滑な戸籍事務の運用方法の検討

- ・ 市区町村による新たな戸籍事務の検討に当たっては、「届けられた読み仮名に係る適否の判断基準」のケースのように、明確な基準を示すことができない場合があること等も踏まえ、あらかじめそれらを想定した体制や対処方法及び必要な支援などを検討しておく必要がある。

【参考】市区町村のヒアリングのなかで、本人による届出以外の方法として、住基連携を活用した収集方法に対する意見もあったため、参考として以下に掲載する。

住基連携方式により読み仮名を収集する場合の作業方法の検討

- ・ 住基連携方式により読み仮名を収集する場合、何らかの方法で住民に確認する必要があるという市区町村が多かった。この作業は、通常の戸籍業務や住民記録業務とは別作業であり、市区町村にとっては非常に大きな負荷がかかる。このことから、住基連携方式により読み仮名を収集する場合には、業務の負担分散などを考慮した作業方法、体制の検討が課題となってくる。

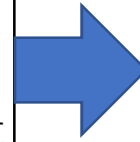
4 法制化による新たな戸籍事務における課題への改善要件

読み仮名の法制化による新たな戸籍事務における課題への改善要件を以下のように整理した。

新たな戸籍事務における課題

早期収集に向けた手段や支援の検討に関する改善要件

届出をする国民から本制度の目的や活用方法、利点についての理解を得る



改善要件

● 国民への周知

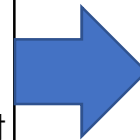
- ✓ 制度の概要や市区町村での具体的な手続の内容、読み仮名が戸籍に付されることによる活用ケース等を丁寧に説明する
- ✓ 読み仮名の届出による付加価値を国民に提供する
- ✓ インターネットやSNS、テレビCMを活用した宣伝等を法務省が支援する

● 市区町村窓口の受付体制強化

- ✓ 特設窓口の設置や来庁予約、オンラインでの事前申請等による窓口の混雑緩和及び職員負担軽減施策の準備をする

円滑な戸籍事務の運用方法の検討に関する改善要件

届出があった読み仮名について、可能な限り市区町村において判断できる範囲を広げる

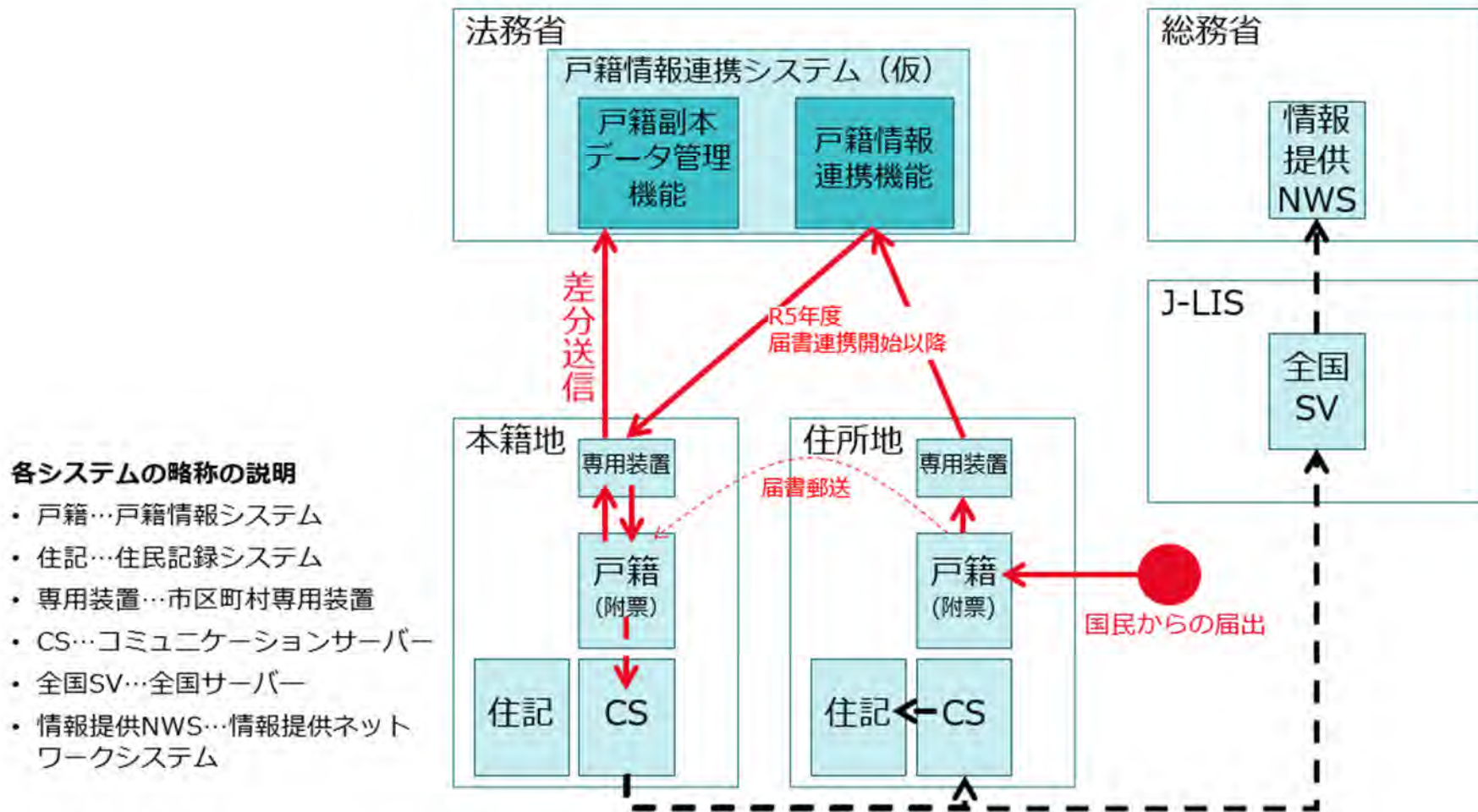


● 各市町村における参照情報の整備

- ✓ 氏名の届出に関する過去の判断事例等をまとめた事例集の作成や法務局において照会事例を取りまとめたFAQの公開等、必要な時に情報を参照できる環境を整備する

5 戸籍情報システム及び関連システムの改修 (全体像)

戸籍情報システム及び関連システムの改修について、以下の図のとおり、国民からの読み仮名の届出(仮)を「住所地」で受け付けた場合を想定し、各システム間の連携イメージを整理した。



5 戸籍情報システム及び関連システムの改修 (改修内容①)

P.5に掲載した図（各システムの連携イメージ）を基に、戸籍情報システム及び関連システムの改修内容について、「本人届出方式」の改修内容を整理した。

No.	関連システム	必要と想定される機能
1	戸籍情報システム	読み仮名の届出（仮）を追加
2		読み仮名の変更届出（仮）の追加
3		届出の追加に伴い、事件票にも届出の追加が必要
4		証明書への読み仮名欄追加に伴うレイアウトの変更
5		読み仮名を登録する機能
6		新たに「読み仮名」として保持する場合、住基法9条2項通知の取得情報に「読み仮名」を追加
7		副本に送信している情報に、新たに「読み仮名」情報を追加
8		身分事項に読み仮名の届出及び読み仮名の変更の届出事項を追加
9	戸籍情報連携システム	令和5年度から開始予定の届書連携機能に読み仮名の届出（仮）の追加が必要と想定される。
10		令和5年度から開始予定の届書連携機能に読み仮名の変更届出（仮）の追加が必要と想定される。
11		「読み仮名」での検索機能を追加する必要があると想定される。
12	戸籍副本データ管理システム	読み仮名の追加により、証明書レイアウトを変更する必要があると想定される。
13		戸籍情報システムから送信される情報に「読み仮名」が追加されるため、新たに「読み仮名」の項目追加が必要と想定される。
14		事件表に読み仮名の届出（仮）の追加が必要と想定される。
15		事件表に読み仮名の変更届出（仮）の追加が必要と想定される。

5 戸籍情報システム及び関連システムの改修 (改修内容②)

No.	関連システム	必要と想定される機能
16	市区町村専用装置	戸籍情報システムから送付される情報に「読み仮名」が追加されるため、新たに「読み仮名」の項目追加が必要と想定される。
17		事件表に読み仮名の届出（仮）の追加が必要と想定される。
18		事件表に読み仮名の変更届出（仮）の追加が必要と想定される。
19		プログラムの設定変更作業が必要になると想定される。
20	住民基本台帳ネットワークシステム	戸籍に新たな事件（読み仮名の変更届出（仮））が追加されることによる住基法9条2項通知の事件コードの追加が必要になると想定される。
21	住民記録システム	戸籍に新たな事件（読み仮名の変更届出（仮））が追加されることによる住基法9条2項通知の事件コードの追加が必要になると想定される。
22		現在保持している読み仮名情報の更新が必要になる可能性がある。

6 運用が開始されるに至るまでの工程表 (①システム改修以外のタスク)

令和6年度の法施行に向けて想定される工程表を「システム改修以外のタスク」と「システム改修のタスク」に分けて整理した。

なお、以下の想定スケジュールにおいては、令和6年度より、読み仮名の届出を受け付けることを前提とした。

<システム改修以外のタスク>

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
法制化検討		研究会 調査研究	法制審	法案提出・施行準備 法案提出	★法施行
国民					読み仮名の届出
法務省 (主管課)	予算要求・確保		R5年度 予算要求	R6年度 予算要求	
	市区町村への 周知・依頼		制度 説明		
	国民への周知・ 広報			広報ツール 作成 広報実施	広報ツール 作成 広報実施
市区町村	予算申請・確保		R5年度 予算申請	R6年度 予算申請	
	国民への通知等			案内/通知作成 配布	案内/通知作成 配布
	窓口受付 (手順化と教育)		受付方法 の検討	手続化・オンライン 受付等実施 職員 教育	読み仮名の届出の受付 届出のあったものから、 証明書交付開始

6 運用が開始されるに至るまでの工程表 (②システム改修のタスク)

システム改修のタスクの検討においても、P.8で示した前提に加え、法案提出（法制審議会終了）後にシステム改修に係る仕様書が公開された場合としてタスクを整理した。

なお、以下のシステム改修のタスクには、現在進行中の「戸籍法の一部を改正する法律」に伴う改修等は考慮していない。

<システム改修のタスク>

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
法制化検討		研究会 調査研究	法制審 法案提出	法案提出・施行準備	★法施行
国民					届出開始
主管課	コンピ研	コンピ研	臨時 コンピ研	臨時 コンピ研	臨時 コンピ研
	戸籍情報連携システム			設計・開発・テスト18M	運用 (申請のあったものから登録及び証明交付)
	戸籍副本データ管理システム			設計・開発・テスト11M	運用 (申請のあったものから登録及び証明交付)
市区町村	戸籍情報システム		仮設計・開発着手	設計・開発・テスト11M	配布6M 運用 (申請のあったものから登録及び証明交付)
	住民記録システム			設計・開発・テスト11M	配布6M 運用 (9条2項通知の読み仮名を住記システムへ登録)
(JLIS) 総務省	住民基本台帳ネットワークシステム			設計・開発・テスト	

7 設計書等の改訂案

戸籍情報システムの設計書等について、読み仮名の法制化に向けた改訂案を以下の観点から整理した。それぞれの具体的なイメージ（例）については、次頁以降に「補足」として記載する。

改訂が必要な既存の届出様式（各種届書）

- ・「よみかた」から「読み仮名」への変更
- ・ 戸籍の筆頭者の読み仮名の追加

改訂が必要な既存の証明書様式

- ・ 戸籍謄本等の証明書に「読み仮名」の追加
- ・ 戸籍の筆頭者の氏と名の両方の読み仮名を記載

法制化に伴い、新たに必要となる届書様式及び変更すべき通知帳票等

- ・ 読み仮名の届書の追加
- ・ 読み仮名の変更届書の追加
- ・ 住基法9条2項通知の様式の変更

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・ 「画面」関係仕様
- ・ 「帳票」関係仕様
- ・ 「ファイル」関係仕様
- ・ 「コード」関係仕様
- ・ 「審査」処理（単体チェック，関連チェック，法令審査，戸籍編製マトリックス，受付編集，戸籍編集等）

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 改訂が必要な既存の届書様式 (各種届書)

改訂が必要な既存の届書様式 (各種届書)
・「よみかた」から「読み仮名」への変更

・戸籍の筆頭者の読み仮名の追加

出生届

受理年月 年 月 日 届出年月 年 月 日

子の氏名 (本姓人の子または
養子) 姓 名

生まれたとき 年 月 日 年 月 日

生まれたところ 市 町 丁目 番 号

婚姻

夫になる人 氏名 姓 名 年 月 日

妻になる人 氏名 姓 名 年 月 日

性 所 婚姻 妻 婚姻 夫

本 籍 婚姻 妻 婚姻 夫

父母の氏名 父 姓 名 母 姓 名

婚姻後の夫婦の氏名 夫 姓 名 妻 姓 名

戸籍を管轄する 市 町 丁目 番 号

「よみかた」を「読み仮名」に変更

出生届

受理年月 年 月 日 届出年月 年 月 日

子の氏名 (本姓人の子または
養子) 姓 名

生まれたとき 年 月 日 年 月 日

生まれたところ 市 町 丁目 番 号

性 所 婚姻 妻 婚姻 夫

本 籍 婚姻 妻 婚姻 夫

父母の氏名 父 姓 名 母 姓 名

婚姻後の夫婦の氏名 夫 姓 名 妻 姓 名

戸籍を管轄する 市 町 丁目 番 号

氏名の読み仮名を確認する欄が必要

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例)

改訂が必要な既存の証明書様式

改訂が必要な既存の証明書様式

・ 戸籍謄本等の証明書に「読み仮名」の追加

・ 戸籍の筆頭者の氏と名の両方の読み仮名を記載

		(2の1)	全部事項証明
本籍	東京都富士区中央一丁目1番地		
読み仮名	ヒガシ タロウ		
氏名	東 太郎		
戸籍事項 戸籍	読み仮名の追加が必要	4月1日	
		【改製事項】平成6年法務省令第51号附則2条第1項による改製	
戸籍に記載されている者	【読み仮名】タロウ		
	【名】太郎		

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例)

法制化に伴い, 新たに必要となる届書様式及び変更すべき通知帳票等

法制化に伴い, 新たに必要となる届書様式及び変更すべき通知帳票等

- ・ 読み仮名の届書の追加
- ・ 読み仮名の変更届書の追加
- ・ 住基法9条2項通知の様式の変更

● 読み仮名の変更の届出

氏の読み仮名の変更届

令和3年8月1日 提出

本籍	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番地	
筆頭者の氏名	東 太郎	
氏の読み仮名 (カタカナ)	変更前 トウヤ	変更後 トウヤウ
家族の氏名	花子	
配偶者	花子	
届出人	東 太郎	

筆頭者が変更届を出すことで構成員の氏も変更される

名の読み仮名の変更届

令和3年8月1日 提出

読み仮名を変更する人の氏名	氏 名	変更後日
	東 太郎	
本籍	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番地	
筆頭者の氏名	東 太郎	
名の読み仮名 (カタカナ)	変更前 サンタ	変更後 ヒナタ
届出人 署名押印 (変更者の氏)	東 太郎	

制度上, 名の読み仮名の変更届出が出来る資格者の範囲が決まることにより, 様式を設定する

● 住基法9条2項通知の様式の変更

住民票記載事項変更通知 (法9条2項通知)

令和3年8月2日

住所	北海道北日本市風吹町2丁目12番地	届出日	令和3年8月1日
本籍	旧 北海道北日本市風吹町2丁目12番地	事件名	婚姻届
	新 東京都高土区〇〇文字一丁目11番地	届出者氏名	旧 甲野 太郎
本人氏名	旧 甲野 花子		新 甲野 太郎
	新 乙野 花子	続柄	
備考	【世帯主】甲野 太郎		

読み仮名欄の作成や, 新旧で変更箇所を示すための項目の追加が必要

上記の者について住民票の記載事項に変更があるので届出が必要となります。

令和3年8月3日

東京都高土区

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂
 <改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第5-c-12) 帳票設計書

帳票設計書	作成日付 2020/02/10	改訂日付 2020/02/10	版 1
適用範囲名			
証明書発行			
記載事項証明書(旧格式) (旧2002年標準 別紙6) 種別名 全世・個人・世帯事項証明書(標準専用)(共通)~001			

第5-c-12) 帳票設計書

	(1201) 全世帯事項証明書 (1202) 全世帯事項証明書
12 空白付の取扱い	1. 空白し欄及び印字欄ともに空白のもの(印刷範囲は除く) ・戸籍表示欄の「本籍」の表示 ・戸籍表示欄の「氏名」の表示 ・戸籍に記録されている者の氏名の表示 ・以下空白の表示は除く 2. 項目欄のみ空白のもの(印刷範囲は除く) ・空白し欄に付のキヨキを表示のある行 「戸籍事項」(「戸籍」に記録されている者)「身分事項」
13 個人の籍籍・消籍	個人の籍籍・消籍に該当する場合は、次の位置に表示する。 戸籍に記録されている者 籍籍の読み仮名を記す。籍籍マース、消籍マースと併記。 (消籍マースは表示しない) 表示する。 読み仮名を「【】と【】」で括弧で表示する。 (日付より表示し続けて「-」を挿入する。 ・「住所配属番号」は表示しない。 ・に該当する。(旧住所) 2000年10月30日【配属者区分】夫 2000年1月4日【配属者区分】妻 記載日付、別表記載の1行に収まらない場合は、項 目ごとに1行の表示を以下に規定する。 (1)日付の表示は位置を前記位置より表示する項目 表示欄の「本籍」「氏名」
14 新居の表示	1. 【】の範囲から新居の日付を日付より表示する項目 ・戸籍事項欄及び身分事項欄 ・【氏】を除く個人特定欄 【例】 【住所】 東京都中央区千代田1-1-1 【例】 【住所】 東京都中央区千代田1-1-1 【例】 【住所】 東京都中央区千代田1-1-1
15 空白文字の取扱い	家系等番号の表示及びその内容項目表示には、基本的に空白文字は使用しない。 所与文字と空白文字が混在している場合も空白文字は除去して表示する。 但し、以下に示す場合は除く。 【例】 ・戸籍表示の「本籍」「氏名」の先頭文字 ・戸籍表示の「氏名」の氏名との区分け ・身分事項中の記載項目で、本籍と籍籍の読み仮名が併記と氏名等との 区分け 【例】 【籍】 東京都 甲府市 甲府市

筆頭者の読み仮名を証明書に表示する方法の検討が必要

本 籍	△東京都 △区△街 △△△△	→町
氏 名	△氏名 △△△△	△△△△

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第5-7-(2) ファイル仕様書

ファイル仕様書		作成日付	改訂日付	版	
		平成26年12月 1日	令和 年 月 日	1	
適用業務名					
戸籍(共通)					
ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	
戸籍(氏名)	個人番号, カナ氏名, 漢字氏名		ディスク	16 150	
No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し回数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	姓漢字	9(2)	無	無	姓漢字
3	カナ氏名	NI 60()	無	無	
4	漢字氏名	KI 30()	無	無	
5	字種	KI 15()	—	—	

既に項目として存在する「カナ氏名」の取扱いを変更する必要がある

第9-7-(2) ファイル仕様書

ファイル仕様書		作成日付	改訂日付	版	
		平成26年12月 1日	令和 年 月 日	1	
適用業務名					
戸籍(身分事項欄項目-出生/子)					
ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	
戸籍(身分事項欄項目-身分事項別録コード別)				1200	
No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し回数	備考
1	出生	9(3)	無	無	事件決定日
2	出生地	KI 50()	無	無	
3	父の氏名	KI 30()	無	無	
4	父の生年月日	9(3)	無	無	第3.2.4項
5	母の氏名	KI 50()	無	無	
6	母の生年月日	9(3)	無	無	第3.2.4項
7	届出日	9(3)	無	無	
8	新簿記載簿本届出日	9(3)	無	無	
9	届出人				
	資格				
	資格				
	氏名				
10	届出人				
	本籍				
	家族				
11	届出人				
12	届出人の生年月日				場合に記録する。
13	父の氏名	KI 30()	無	無	
14	父の氏名				
15	父の氏名				

身分事項ファイルのレイアウト定義が必要
※画像は出生事項

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1 出生届(含国籍留保)

データチェック(単体表)				作成日付	平成0年12月 1日	改訂日付	令和3年9月31日	版	R3
作業名		審査(出生届)							
処理名		画面名		画面ID					
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)							
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	エラー*	備考		
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」				
2	受理日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」					
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
4	発送元		漢字						
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分, 1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること					
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
7	本・非本区分	○	数字	(1:本籍, 2:非本籍)であること					
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
9	動機区分	○	数字	(0:要, 1:不要)であること					
10	報告区分	○	数字	(1:創設的届出, 2:報告的届出)であること					
11	出生届明書区分	○	数字	(0:無, 1:医師・助産師, 2:その他)であること					
12	出生子, カナ氏名	○	カナ	(氏△名 又は 氏)であること					
13	" , 漢字氏名	○	漢字	(氏△名 又は 氏)であること					
14	" , 生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」(年齢算出)のチェック					
15	" , 出生区分	○	数字	(1:嫡出子, 2:準正嫡出子, 3:非嫡出子, 4:養児)であること					
16	" , 続柄コード	○	数字	(11~29, 31~49, 99)であること					
17	" , 出生地		漢字						
18	" , 国籍		漢字						
19	" , 住所	○	漢字						
20	" , 世帯主氏名	○	漢字						
21	" , 世帯主上の続柄コード	○	数字						
22	届出人, 資格コード	○	数字	(001:父, 002:母, 005:父母, 077:法定代理人, 079:医師, 115:助産師, 081:その他立会人, 082:親族, 085:同居者, 092:船長, 093:公設所の長, 097:市区町村長)であること					
23	届出人, 資格名称		漢字						
24	" , 氏名		漢字	届出人の資格 = 005, 097の場合未入力 届出人の資格 ≠ 005, 097の場合入力必須					

追加される届書の単体チェック表の追加が必要
※画像は出生届

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1 出生届(含国籍留保)

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名	画面名	画面ID					
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					
No	内容			出力エラーメッセージ	エラーコード	備考	
1	(No.3)送付日 = スペースの時、(No.4)発送元 = スペースであること			「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること						
3	(No.3)送付日 = スペースの時、(No.3)送付日 ≥ (No.2)受領日であること						
4	(No.3)送付日 = スペースの時、(No.5)在外送付区分 = 0:受理分であること						
5	(No.3)送付日 = スペース かつ (No.15)出生子の出生区分 ≠ 4の時、 (No.9)動態区分 = 1:要であること						
6	(No.4)発送元 = スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること						
7	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 = 1:国内からの送付であること						
8	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 = 2:在外公館の直接送付 又は (No.5)在外送付区分 = 3:在外公館の国内経由であること						
9	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)在外送付区分 = 2:在外公館の直接送付の時、 (No.9)動態区分 = 1:要であること						
10	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)在外送付区分 = 1:国内からの送付 又は (No.5)在外送付区分 = 3:在外公館の国内経由の時、 (No.9)動態区分 = 0:不要であること						
11	(No.6)処理日 = スペースの時、(No.6)処理日 > (No.2)受領日であること						
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 = スペースであること						
13	(No.8)郵送日 = スペースの時、(No.8)郵送日 ≤ (No.2)受領日であること						
15	(No.15)出生子の出生区分 = 4の時、(No.9)動態区分 = 0であること						
16	(No.32~37)父欄のいずれか 又は (No.38~43)母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.30)本籍 ≠ スペース、(No.31)筆頭者 ≠ スペースであること						
17	(No.28)婚姻解消日 ≠ スペースの時、 (No.25)婚姻日 ≠ スペース、(No.28)婚姻解消日 ≥ (No.25)婚姻日であること						
18	(No.32~37)父欄のいずれかに入力がある場合、 (No.32)父氏名、(No.33)父筆頭者区分、(No.34)父生年月日、 (No.37)父配偶者区分 ≠ スペースであること						
19	(No.38~43)母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.38)母氏名、(No.39)母筆頭者区分、(No.40)母生年月日、 (No.43)母配偶者区分 ≠ スペースであること						
20	(No.30)本籍 ≠ スペース 又は (No.31)筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.30)本籍 = スペース (No.31)筆頭者 = スペース であること						

追加される届書の関連チェック表の追加が必要
※画像は出生届

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1 出生届(含国籍留保)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年8月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.0 審査(レアケース, 不受理, 以降の処理制御)						備考
(1) 関連受領No. ≠ スペース (YES, NO)		/					
YES (2) 受けF. 受付事件コード ≠ 0202 (YES, NO)		/					
YES (3) エラーメッセージ 「入力された関連受領No. は、胎児認知の受付帳ではありません。」を表示する		/		(4) 本紙へ			不受理
NO (5) 受けF. 受理送付区分 = 1 かつ 在外送付区分 = 0 (YES, NO)		/					※出生:受理, 胎児認知:受理だけ審査対象それ以外は審査結果入力
YES (5-1) → (6) へ		/					
NO (5-2) エラーメッセージ 「出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する		/		(5-3) 本紙へ			審査結果入力
NO (5-4) → (6) へ		/					
(6) 出生子の生年月日 < 昭和25年7月1日 (YES, NO)		/					新国籍法(昭和25. 7. 1施行)
YES (7) エラーメッセージ 「出生日が新国籍法施行前の出生処理は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する		/		(8) 本紙へ			審査結果入力
NO (9) → (10) へ		/					
(10) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース (YES, NO)		/					
YES (10-1) 確認メッセージ (YES, NO) 「同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか。」を表示する		/		(10-2) 本紙へ			
YES (10-3) → (10-7) へ		/					
NO (10-4) エラーメッセージ「審査結果入力」で処理して下さい。」を表示する		/		(10-5) 本紙へ			審査結果入力
NO (10-6) → (10-7) へ		/					
(10-7) 入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 = 1 (YES, NO)		/					
YES (11) 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース (YES, NO)		/					
YES (13) 父母涉外婚姻区分に1を移送 (14) → (17) へ		/					父母涉外婚姻
NO (15) 父母涉外婚姻区分に3を移送 (16) → (17) へ		/					
NO		/					
(17) 入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 = 1 (YES, NO)		/					
YES (18) 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース (YES, NO)		/					
YES (20) 父母涉外婚姻区分に2を移送		/					

追加される届書の審査項目の追加が必要
※画像は出生届

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, **戸籍編製マトリックス**, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1 出生届(含国籍留保)

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1															
作業名		入力確認(出生届)																				
処理名		2.0 戸籍編製マトリックス表																				
項番	出生区分		父				母				胎児認知有	新戸籍編製		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1			
	輸出子	準正輸出子	日本人		外国人*2	無国籍*2	日本人		外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 B.1	変動なし A.2 D.1	一部記録 A.2 D.1	変動なし A.2 D.1	一部記録 A.2 C.2		全部除籍 A.2 B.2 C.2		
			本籍人	非本籍人			筆頭者	構成員													他の 在籍者	
																					有	無
本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無	有	無															
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	<input type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	子(7.1) 子(8.1)									
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										子(7.1) 子(8.1)								
3	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
4	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>										
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	<input type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	子(7.1) 子(8.1)									
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	<input type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)								
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											父(5.1)							
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										子(7.1) 子(8.4) 子(8.4)	父(5.2)							
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								子(7.1) 子(8.1)							
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								子(7.1) 子(8.1)子(8.4)							
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>												子(7.1) 子(8.1)				
12		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								子(7.1) 子(8.1)							

追加される届書の戸籍編製マトリックスの追加が必要
※画像は出生届

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1. 出生届(含国籍留保)

データ編集表			作成日付	平成30年12月 3日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)共通 編集・出力							
受取側			引渡側		コード 変換有無 (特アール)	出力形態 Z9..	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称 記号名		DB・ファイル名 画面名称	項目 名称 記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			出生子の出生区分 国籍留保届出区分 胎児認知日 裁判の区分				・出生子の出生区分 = 3(非嫡) & 入るべき戸籍の母 = 本籍人 & 新戸籍の本籍 = 非本籍 & 在外送付区分 = 1(国内からの送付) or or 2(在外公館の直接送付) or 3(在外公館の国内経由):4401(その他) ・国籍留保届出区分 ≠ スペース:0102(出生・国籍留保) ・出生子の出生区分 = 2(準嫡) & 以下のどちらか (胎児認知日 = スペース & 裁判の区分 ≠ 4):0103(出生・認知) (胎児認知日 ≠ スペース or 裁判の区分 = 4):0101(出生) ・出生子の出生区分 = 4(養児):0104(出生・養児免見) ・国籍留保届出区分 ≠ スペース & 出生子の出生区分 = 2 & 以下のどちらか (胎児認知日 = スペース & 裁判の区分 ≠ 4) :0105(出生・認知・国籍留保) (胎児認知日 ≠ スペース or 裁判の区分 = 4):0102(出生・国籍留保)
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 = スペースの時、受領日移送
	事件発生日			出生子の生年月日				
	事件発生日時							
	事件発生日時							
	受理送付区分							在外送付区分 在外送付区分
	本非区分			本非区分				
	涉外区分			涉外区分				
	発送日			郵送日				
	郵送日							
	取日							
	指示日							
	許可日							
関連受領番号								
届出人資格区分1 届出人資格名称1 届出人氏名1			届出人の資格 届出人の資格名称 届出人の氏名					届出人の資格 = 005(父母)の場合 届出人資格区分1 = "001"(父) 届出人資格名称1 = "父"

追加される届書の受付編成表の追加が必要
※画像は出生届

補足. 設計書等の改訂案のイメージ (例) 戸籍情報システム標準仕様書の改訂

戸籍情報システム標準仕様書の改訂

<改訂が必要となる仕様>

- ・「画面」関係仕様
- ・「ファイル」関係仕様
- ・「審査」処理 (単体チェック, 関連チェック, 法令審査, 戸籍編製マトリックス, 受付編集, 戸籍編集等)
- ・「帳票」関係仕様
- ・「コード」関係仕様

第7-2-(5)-1 出生届(含国籍留保)

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成27年 3月 1日	版	18	
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	7.1 個人特定(出生子・入籍)							
受取側		引渡側		コード 変換有無 (#704-1)	出力形態 29,	備考		
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)			決裁処理で設定		
	入籍日			処理日 送付日 受領日		処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日		
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	筆頭者区分						新戸籍の筆頭者 = スペース かつ 新戸籍の筆頭者 = 出生子の氏名: 1を移送 上記以外:0を移送	
	配偶者区分						0を移送	
	父			入るべき戸籍の父氏名 届書の父氏名			出生子の出生区分 = 1 又は 2 又は 出生子の出生区分 = 3 かつ (裁判の区分 = 4 又は 胎児認知日 = スペース又は事実主義を含む出生)の時、 入るべき戸籍の父氏名 = スペース:入るべき戸籍の父氏名を移送 届書の父氏名 = スペース:届書の父氏名を移送 ※父未定区分 = 1 又は 2の場合 スペースを移送	
	母			入るべき戸籍の母氏名 届書の母氏名			入るべき戸籍の母氏名 = スペース: 届書の母氏名 = スペース:届書の母氏名を移送	
	父母との続柄			出生子の続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	生年月日				出生子の生年月日			
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を移送

追加される届書の戸籍編製表の追加が必要
※画像は出生届